学校番号	３０２

平成 31 年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書道Ⅰ」（教育図書）						
副教材等							

１．担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小，中学校国語科書写の学習を基礎とし，書道の幅広い学習活動を通して，生涯にわたり書を愛好する心情を育てます。
・書に親しむ活動を通して感性を高め，書写能力の向上を図り，自己を主体的に表現するための能力を伸ばします。
・書の美しさを感じとる鑑賞の基礎的な能力を養い，書の伝統と文化についての理解を深めましょう。

２．学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して，生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに，感性を高める。併せて書写能力の向上を図り，表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし，書の伝統と文化についての理解を深める。

３．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の思考・判断・表現	c:創造的な書表現の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい，書の伝統と文化に関心をもって，主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り，感性を働かせながら，自らの意図に基づいて構想し，表現を工夫している。	創造的な書表現をするために，基礎的な能力を生かし，効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し，その価値を考え，書の良さや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ノート ワークシート	観察 ワークシート 提出作品	観察 ワークシート 提出作品	観察 ワークシート 提出作品
上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。				

４．学習の活動

月	単元名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	書へのいざない	・書写から書道へ ・用具用材について ・姿勢・執筆法 ・漢字の成り立ちと書体の変遷	○			○	a:国語科書写と芸術科書道の関係，高等学校での書道の学習の意義に関心を持ち，意欲的に取り組もうとしている。 b:中学書写での漢字と仮名の調和の学習を振り返り，表現を工夫している。 c:基本的な姿勢・執筆法を身に付け表している。 d:漢字の書体の変遷と仮名の誕生について理解している。	観察 ワークシート
5 6 7	漢字の書の世界	・楷書の古典に学ぼう ○顔氏家廟碑 ○牛橛造像記 【鑑賞】 ・唐の四大家 ○孔子廟堂碑 ○九成宮醴泉銘 ○雁塔聖教序 【鑑賞】【臨書】 ・うちわ 【臨書】 【創作】	○	○		○	a:さまざまな楷書の古典の美とその技法に関心をもち，表現技法を高めようとしている。筆者の感興や意図と字形や線質との関わりに関心をもち，意欲的，主体的に漢字の書の美を味わおうとしている。 b:古典の臨書・鑑賞を通して楷書の美とその表現技法を学び，普遍性のある表現を工夫している。 c:楷書の基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し，創造的な表現を身に付け表している。 d:顔真卿の書と北魏の書を鑑賞して，中学校書写との違いを感じ取ることができる。唐時代の時代背景や，太宗と初唐の三大家について理解している。	観察 ワークシート 提出作品
8		・行書の古典に学ぼう ○蘭亭序 【鑑賞】【臨書】 ・書聖 王羲之	○	○		○	a:さまざまな行書の古典の美とその技法に関心をもち，表現技法を高めようとしている。王羲之の書と人について，理解を深めようとしている。 b:行書の美に対する感性を働かせて，自らの意図に基づいて表現を構想し，工夫し	観察 ノート 提出作品

9		○風信帖 【鑑賞】【臨書】					ている。 c:行書の基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し，創造的な表現を身に付け表している。 d:さまざまな行書の古典の美とその技法や，王羲之の書と人について理解している。	
10		・篆書に親しもう ○泰山刻石 【鑑賞】【臨書】	○	○		○	a:身の回りの篆書に興味を持ち，意欲的に取り組んでいる。 b:篆書の古典のもつ伝統的な美を感受し，表現を構想し工夫している。 d:篆書が生活の中で果たしている役割を知り，その効用を理解している。	観察 ノート 提出作品
		・篆刻 ・印を彫る	○		○		a:篆刻に関心を持ち，意欲的に取り組んでいる。 b:篆刻の技法を学び，自らの意図に基づいて表現を構想し工夫している。 c:篆刻の技法を理解し，姓名印を刻す技能を身に付け表している。 d:篆刻の意義と技法について理解している。	
11		・隷書に親しもう ○曹全碑 【鑑賞】【臨書】	○	○		○	a:身の回りの隷書に興味を持ち，意欲的に取り組んでいる。 b:隷書の古典のもつ伝統的な美を感受し，表現を構想し工夫している。 d:隷書が生活の中で果たしている役割を知り，その効用を理解している。	観察 ノート 提出作品
	仮名の書の世界	・仮名の成立 ・いろは歌 ・仮名の書の古典に学ぼう ○蓬莱切 【鑑賞】【臨書】	○	○		○	a:仮名の成立に関心を持ち，意欲的に取り組んでいる。仮名の表現技法の基礎・基本を身に付け，書写能力の向上に努めている。 b:仮名の書の美とその技法を学び，普遍性のある表現を工夫している。 c:仮名の基本的な線質と用筆・運筆との関係を理解し，創造的な表現を身に付け表している。 d:平安時代のさまざまな古筆の美とその技法について理解している。	観察 ノート 提出作品

12	生活の中の書	・カレンダー 【創作】			○		a:くらしの中に書を生かそうとしたり，くらしに生きる書に関心を持っている。 b:書道の学習で身に付けたことを生かして，くらしの中に書を生かす工夫をしている。 c:書道の学習で身に付けたことを生かし，くらしの中に書を生かすことができる。	観察 ワークシート 提出作品
1 2	漢字仮名交じりの書の学習	・漢字仮名交じりの書の学習をはじめよう【鑑賞】 ・自分らしい表現を求めて （用具・用材の工夫） （紙面構成の工夫） ・作品制作 【創作】	○	○	○	○	a:漢字仮名交じりの書の表現に関心を持ち，意欲的に取り組んでいる。用具・用材と表現との関係に関心をもち，意欲的，主体的な表現に取り組もうとしている。 b:漢字と仮名の調和した線質の表し方やその美しさを理解し，表現を工夫している。効果的に表現するため，文字の大きさや配置，行の長さや行間を工夫している。 c:漢字と仮名の線質の調和を図る技能を身に付け表している。用具・用材の特性を生かした表現効果を理解し，表現に応じた用具・用材を選択している。 d:漢字と仮名の調和した表現について理解している。	観察 ノート ワークシート 提出作品

※ 表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の思考・判断・表現
c:創造的な書表現の技能　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することになるが，学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。